

～第4学年 富浦移動教室～

4年生は、5月14日より2泊3日で、千葉県の房総半島の南端に位置する富浦へ移動教室に行っていました。

ほとんどの子どもたちにとって、家から離れて友達や先生と一緒に宿泊するのは、初めての体験となるのが富浦移動教室です。胸いっぱいの楽しみとともに、不安な気持ちもありました。

でも、やさしく迎えてくれた富浦の自然の中で、子どもたちは元気いっぱいに3日間を過ごしました。そして、富浦の自然のすばらしさを体で感じながら、子どもたち同士が一生懸命努力する姿に気づくこともできました。

今年の4年生の学年目標は「フレンドシップ」です。3年生の時に仲間のよさに気付く心を培い取り組んだ「きらり」。4年生は、そんなかけがえのない仲間と笑顔でつながる、そんな機会を得られることができた2泊3日の移動教室になりました。そんな3日間のかけがえのない思い出をダイジェストで御報告いたします。

第1日 5月14日（水） 晴れ

気持ちのよい青空の広がる房総へと、子どもたちはバスに乗り込みました。車窓から見える東京スカイツリーに子どもたちは大興奮し、大きな歓声が上がります。バスレク係の子どもたちが企画したレクリエーションで盛り上がり、あっという間に富浦に近づきます。海ほたるを通過した後に見えてくる景色に「あっ、海が見えるよ！」気付いた子どもの声が、みんなの目を窓の外に見える青い海に釘付けにします。子どもたちを乗せたバスは、渋滞もなく、予定した時間通りに富浦の町に到着しました。

初めて見る富浦寮に、子どもたちは歓喜の声を上げます。上級生から話を聞いて、それぞれが頭に思い描いていた寮の様子と、目の前にある富浦寮の佇まいの違いに、子どもたちは次々に感想を口にして興奮気味です。

寮での最初の食事は、子どもたちの大好きなカレーライスです。いつも以上にたくさん食べた後、富浦ウォッチングへ出発です。グループごとに計画した道を通って、富浦の町を探検します。社会科で学習した土地利用の様子や地形の様子を自分の目で確かめながら、ウォッチングのリーダーを先頭に歩いていきます。途中、海岸で貝殻を拾ったり農業に従事している方々に気軽に声をかけたり？時には美容室から出てきたくださった富浦の方々から声をかけていただくなど、子どもたちはいつの間にか、そして、さも前から慣れ親しんでいたかのように富浦の町の空気を思い切り堪能しています。

仲間と一緒に楽しい時間を1日目から満喫したせいなのか、この夜、寝床についた子どもたちは、明日への期待を胸に笑顔のまま眠りにつきました。



第2日 5月15日（木） 雨のち曇り

今日も快晴！とはいかなかった2日目の朝。前日から心配されていたのですが、早朝から大粒の雨でした。天気予報を受けて、1時間ほど遅く出発しました。2日目の午前中は磯採集です。岸から少し離れた雀島まで歩いていけるほどの大潮です。この環境も今回の移動教室の日程を決める上で大切なことでした。なんとしても子どもたちに海の水がかなり引いた絶好のコンディションで磯採集に取り組みせたい！そんな思いが伝わったのか、雨もあがり、何とか実行することが



できました。潮溜まりには磯の生き物がたくさんいて、あちこちで子どもたちの歓声が上がります。ヤドカリ、カニはもちろん、アメフラシ、パフンウニ、さらにはたくさんのムラサキウニが子どもたちを待っていました。磯採集をガイドしてくださった現地の方も、「今日は、海の生き物にとって受難の日ですね。みなさん、思いっきり磯採集を楽しんでください。」と話されるほど豊かな磯採集になりました。

午後は、富浦をフィールドに、現地ならではの素材をグループごとに追究するフリータイム学習です。この日まで、学校の菊の子の時間に自分で見つけた課題を追究してきましたが、今日は本物の場所と本物の技に出会う時間です。次の9つのグループに分かれて活動しました。

～フリータイム学習の紹介～

- 魚グループ…堤防で海釣りに挑戦。今年は、合わせて20匹くらい釣れました。
- 鳥・植物グループ…浜辺にしか生息しない植物と雀島で繁殖するクロサギを観察しました。
- びわグループ…びわのジャムづくりに挑戦。なにより、びわをいっぱい食べました。
- 歴史・民話グループ…岡本城跡で室町時代へタイムスリップ。さすが池の怖い伝説に鳥肌です。
- おはやしグループ…「キントコドッコイ」と威勢のよいかげ声で、おはやしの演奏体験をしました。
- 花グループ…花の色づけ実験を観察したり、フラワーアレンジメントをしたりすることができました。
- 干物グループ…職人の包丁さばきに感動の拍手。子どもたちも短時間でさばくことに挑戦しました。
- うちわグループ…特徴ある房州うちわ作りを体験。たくさんのおみやげもいただきました。



現地での体験を「分かった」「楽しかった」で終わるのではなく、ここでの体験をきっかけに今後のフリータイム学習を深めていきます。

夜は「フリータイム報告会」です。各グループが部屋で話し合い、短い時間でセリフや小道具を作って、自分たちが体験してきた新鮮な思いを伝え合いました。予想以上の盛り上がりでしたが、フリータイムグループごとに一つにまとまろうとする姿や、会の進行に協力しようとする姿が見られ、子どもたちの集団としての成長を感じることでできた時間となりました。

第3日 5月16日(金) 晴れ

2泊3日お世話になった富浦寮に「来年また来るよ!」と別れを告げて、大房岬へと向かいます。この



日は、夏を思わせる太陽。自然がいっぱいの大房岬で、大房ハイクを行いました。大房岬からの景色は、海の青さと鮮やかな若葉の色に思わず深呼吸をしたくなるほどの素晴らしさです。3日間一緒に過ごした班の仲間と共に「宝物」を見つける子どもたちは、富浦で過ごす最後の時間を仲間と一緒に味わいました。「本当の宝物は仲間と協力することなんだよ」そんな気付きをする声もあがりました。

帰りのバスに乗り込む時に、「もう少し富浦に居たかったなあ。」「まだ帰りたくない!」と子どもたちが口にしたのは、きっと仲間と共に過ごすことの素晴らしさを十分に味わったからでしょう。これから、子どもたちは、富浦で過ごした3日間を振り返ります。富浦での楽しい思い出とともに、仲間と協力して生活をした自分や友達の姿に気付いていってほしいと願っています。